



伊奈町長にももの申す!

ぼくたち・わたしたちだったら 伊奈町をこうしたい!

町長対談
その1
伊奈町中学生

- 小針中学校3年/大本藏之介さん
- 伊奈中学校3年/和田勇誠さん
- 南中学校3年/平山花音さん

キラキラ Town 伊奈

伊奈町ってどんなところ?
自慢できるところ、変えたいところは?

町長対談その1では、
町立中学校の生徒3人が参加。
中学生の視点で、伊奈町の今、
そして伊奈町の未来を語ってもらいました。

町長 みんなが言う通り、伊奈町が誇れるものはいっぱいありますね。自然や人はもちろん、県立がんセンターや県民活動総合センター、400種のバラがある町制施行記念公園(バラ園)、それから梨やぶどうも有名です。さらに今、進めているのが「伊奈忠次」という人物に関すること。徳川家康の右腕として数々の功績を残した伊奈忠次は伊奈町の町名にもなっている人物。この偉人をもっと町内外へ広めたいと思っています。



平山さん

伊奈町に「あったらいいモノ」ってなんだろう?

町長 次にみんなに聞きたいのは、伊奈町に「あったらいいな」と思うもの。何かあるかな?

大本 あったらいいというか…僕は小針中近くの交通量が多い横断歩道に歩行者用の信号機を付けてほしいです。車が多くて、道を渡りづらいので。

町長 信号機の設置は公安委員会が決めるんですが、町としても要望を出して、早めに対応しますね。

伊奈町の自慢って どんなところ?

大本 伊奈町のいいところって、やっぱり緑が多くて景色が綺麗なところですね。あと、僕の通っている小針中学校は、同級生が300人以上いるマンモス校。だから、いろいろな考えを持った人と交流できるのが楽しいし、そこがいいなって思います。

和田 確かに環境がいいですね。自然もそうだけど、学校や地域の環境もいいです。先生や地域の人も話しやすいです。

平山 そうそう。地域の人がとても優しいです。私の学区は小針中に比べたら若者が少ないんです(笑)。でも、登下校の時にボランティアの人がたくさん見守りに出してくれたり、学校行事を見に来てくれたりしています。名前も覚えてくれたりして…とても温かいなって感じます。

町長 それは嬉しいことだね。地域の旗振りや見回りなどをしてくれているボランティアの方は町全体で1,000人以上います。そこも伊奈町らしさかな。

大本 僕の学区は若者が多いけど(笑)、地域のつながりはあります。小学生のころ、スポーツ少年団に入っていたけど、そこでも地域の団結力みたいなものを感じました。

町長 伊奈町というのは小さいころからコミュニケーションが取りやすいところなのかもしれないね。町内には自治区が22区あって、各区でお祭りや運動会などイベントをやっているから、結びつきが強いんだな。

和田 ほかに、交通の便が良いのも自慢できます。ニューシャトルがあるので、都会に行きやすい。なおかつ、町が落ち着いたので安全に暮らせれます。

大本 交通の便が良いというのは、僕たちにとってもありがたいことです。高校の選択肢も広がります。浦和や大宮といった埼玉の中心地の高校へもニューシャトルを使えば30分くらいで行けちゃう。それって、強みですよ。

平山 私は伊奈学園が自慢ですね。全国でもトップクラスの吹奏楽の実力を持っている学校が地元にあるってすごいことだし、ほかの地域から見ても魅力的だと思います。

町長 確かに伊奈学園は吹奏楽で県下ナンバーワンだから、吹奏楽をやっている人は憧れるよね。平山さんが通う南中も吹奏楽を頑張ってるでしょ。

平山 はい。だから、友だちでも伊奈学園を目指している人は結構います。



和田さん

和田 僕は北と南の人口を均等にしたい!南北ともにいいところはありますが、今は小針中のほうが生徒数は多い。小針中は部活動がいっぱいできるけど、伊奈中は人数が少ないから廃部になるところもあります。均等にできれば、もっといろいろな部活動ができるのになって…

町長 和田さんの言っていること、すごくわかりますよ。廃部というのは深刻な問題だね。今は「この地区の子どもはこの中学校」と決めてしまっているから、できれば、それぞれの意志や判断で通学区を決められるといいですよ。これから、そういうことを検討していく必要があるね。

平山 私が町長になったら、子どもが安心・安全に遊べる公園を造りたいです。親が安心して子どもを遊ばせられるような公園を造りたいですね。

平山 私はぜひ、南中の雨漏りを直してほしいです!

町長 はい。それは重々承知しています。予算を組んで直していきますね。

平山 それから、私が「あったらいい」と思うモノは、誰もが行きたいと思う商業施設、大型施設です。さっき話したように地域のつながりは強いけれど、ほかの地域とのつながりはあまりないように感じています。町の人全体と交流できるような施設があったらいいと思います。

大本 僕は子どもも大人も自由に遊べる広い公園があると良いと思います。

和田 そうそう。ボールが気軽に使える公園がほしいです。

町長 確かにその通り!町に公園は多いのだけど、サッカーや野球は禁止されているんだよね。ボールが飛んでいっちゃうから、高いところからネットを張らないといけない。頭の痛いところですよ。これは町長に課せられた「宿題」の一つかな。

町長になったら どんな町をつくりたい?

大本 もし自分が町長になったら、暮らしやすい町を作りたい。具体的には、伊奈町の自然や緑を増やして、高齢者も子どもも歩きやすいように道路のバリアフリー化を進めたいです。

20年後、50年後の 町の姿を描いてみよう

平山 最初にお話した伊奈町のいいところである「緑が多い」「人が温かい」ところをもっと広げて、ほかの市町村から見ても伊奈町が憧れられる町になってほしいです。そして、20年後、50年後の中学生には、「伊奈町のいいところはここだから、それを守ってこう。伝えていこう」という考えをしっかり持ってほしいと思います。

和田 僕も伊奈町のいいところをもっとみんなに知ってもらえたらいいと思います。未来の中学生には、伊奈町は落ち着いて静かな町、歴史ある町だと、きちんと伝えていってほしい。



大本さん

生徒たちと50周年ポーズ♪



大本 20年後、50年後は町全体がバリアフリーやエコであふれるような町になってほしいですね。それと、ずっと名前も「伊奈町」であってほしい。

町長 「伊奈町」であってほしいというのは、合併しないでほしいということかな?伊奈町愛が感じられて嬉しいね。

みんなが言っていること、よくわかります。町のテーマも「ずっと住みたい 緑にあふれた キラキラ 元気なまち」。そのテーマに沿った施策をハード、ソフトの両面で進めていきたいと考えています。

そのためには、グローバルな人間を育ててくれないといけない。だから、みんなにはしっかり外国語を学んでもらって伊奈町を拠点に世界で活躍する人になっていただきたい(笑)。

20年後、50年後、自動車が空を飛んでいたり、伊奈町の田んぼが宇宙船の発着地になっていたら楽しいよね。そんな壮大な夢をみんなにもぜひ、持ってもらいたいな。

最後にみんなに贈りたい言葉は、渋沢栄一の「夢七訓」です。

夢七訓

- 夢なき者は理想なし
- 理想なき者は信念なし
- 信念なき者は計画なし
- 計画なき者は実行なし
- 実行なき者は成果なし
- 成果なき者は幸福なし
- 故に幸福を求むる者は夢なかるべからず

渋沢栄一

どうか、若い時に夢を持ち、それが実現するように頑張ってください!

フロンティア精神で 関東を大改造

徳川家康のブレイン、先見性のある 伊奈忠次公から学ぶ未来とは

“伊奈流”を貫き、 町民に寄り添う官僚役人

町長 今、町では忠次を顕彰するための様々な取り組みを進めているところですが、先生が忠次に関心を持ったきっかけは何だったのでしょうか？

大石 江戸幕府の第8代将軍徳川吉宗の政治を追いかけていた時ですね。その時代、政治を動かしていたのは大岡越前守などのいわゆる改革派官僚ですが、彼らは堤防を造り河川敷を開発して税金の対象となる地を拡大するなど、どんどん年貢を上げていった。国庫は潤うのですが、川が一度、決壊してしまうと飢饉や一揆が起こってしまう。

反対に、伊奈氏が行ったのは河川をあえて氾濫させ、水が引くのを待つ。そして河川敷を肥沃にする“伊奈流”です。さらに、無理に増税はせず、安定して年貢を取っていくという長いスパンで

生産と生活を考える方法でした。成果を急ぐ改革派からすると、忠次は困った存在と疎まれましたが、農民からすると安定した農政で、地域に根づいていきました。そこが非常に興味深かったのです。

町長 先生のおっしゃる通り、忠次は農民にとっても支持されていましたね。豊作の時も凶作の時も平均して年貢をとることで、農民に“預金”ができるようにしたのが忠次の方式で、農民はととても助かったようです。忠次から代々、受け継がれている民衆に寄り添った行政を、伊奈町の首長としてぜひ見習いたいと常々思っているところです。

大石 「寄り添う」というのはキーワードになると思います。教科書などでは、とすると勇ましい戦いをしたり、新しいことを始めた人物に焦点を当てがちですが、忠次は表に出るタイプではなかった。目立つ人の穴埋めをして、社会の底上げをしていくという役割を上手に果たす人でした。派手な活躍をする人の後ろで、「民衆のために、弱者のために何が大事か」を考える、冷静でバランスのとれた人でした。

インフラ整備をはじめ、幕府を下支えする地味な仕事を行ってきた忠次ですが、インフラの大切さや「自然との共生」が叫ばれている現代社会にこそ、光の当たるべき人だと思えます。

農民に慕われる 明るい未来を描く政治家

伊奈町長
大島清
Oshima Kiyoshi

対談

東京学芸大学名誉教授
大石学
Oishi Manabu



関東を大改造し、 大都市江戸の礎を築く

町長 先生、それから忠次の先見性も素晴らしいですね。当時、湿地帯だった関東へ赴くことに不安を抱えていた家康に、「関東には魅力がある。川さえ解決できれば、関東は一大穀倉地帯になる」と説得したのが忠次でした。

大石 そうです。家康も忠次に全幅の信頼を寄せていた。東海から関東に来る時、「関東を我がものとして支配せよ」と忠次に伝えている。つまり、家康は関東の支配を全部、忠次に任せました。まさに、忠次は家康の分身だったと言えるでしょう。その信頼に応えるべく、忠次は江戸湾に流れていた利根川を銚子に流すことで、それ



まで湿地帯だった旧流域を新田に変えた。さらに治水も行い、江戸は発展の基盤を得ました。

彼は、まさに現在の首都・東京の原型を作ったのです。

町長 人力で利根川を東遷するなんて、すごいことですね。

大石 忠次はランドデザインを描ける人でした。江戸が発展していくためには物資が必要で、その物流ルートを確認するために利根川を遷し、関東を大改造したわけです。街道筋を整備し、新田開発や寺社・旗本などへの土地の割り当ても彼が手がけた。関東平野の大構造転換を図った。つまり、フロンティア開発という大仕事を成し遂げたんです。

町長 わかりやすくいうと、今でいう農林水産大臣と国土交通大臣を兼務していたわけですね。

大石 この難事業を、彼はやってのけたことから、民衆からも慕われた。

町長 おっしゃる通りで、平民からは、「神様伊奈様」といわれていました。

大石 そうです。江戸中期になり、一揆が起こると、幕府は伊奈氏の子孫を“派遣”する。すると一揆は収まってしまふ。それほど、民衆からの信頼が厚かったのは、冒頭でも触れた通り、忠次が民衆に寄り添っていたからだと思えます。

今再び、歴史を刻む コントロールタワーに

大石 ここ、伊奈町は関東全域を整備して新しい都市・江戸を作るための拠点であると同時に、伊奈家代々の領地でした。なぜ、忠次がこの地を選んだのかを考えた時、一つには小室宿が当時、市(いち)なども立って経済発展していたことが挙げられます。また、北方大名への軍事的な備えにも有効でした。さらに、新田開発の際、利根川や鬼怒川などの水脈も重要でした。いずれにせよ、このような歴史は他市がお金を出しても買えない、伊奈町の貴重な財産です。

町長 おっしゃる通りです。忠次が選んだ地に恥じぬよう、魅力的な町にするために、さまざまな取り組みを始めているところです。

大石 伊奈氏がこの地をベースキャンプ兼コントロールタワーとして、関東一帯を大改造したのと同様に、東京から人が流出し、情報が拡散する昨年、伊奈町は再度コントロールタワーになりえると思います。

今、時代は新しいフェーズに入っています。その中で、どのように新たなネットワークや地域を構想するかという、課題が見えてきました。現代の忠次が求められているのではないのでしょうか？

町長 そうですね。現代のコントロールタワーとなるべく、まずは子どもたちに「伊奈忠次公が住んでいた町」という誇りを持ち、次代も魅力ある伊奈町を築いてもらえるよう、しっかりと忠次の功績を伝えていきたいですね。



おおいしなまぶ プロフィール

東京都出身。東京学芸大学名誉教授。江戸時代を専門とする日本近世史学者。NHK大河ドラマ「新撰組!」「篤姫」「龍馬伝」などの時代考証を担当。2009年には時代考証学会を設立。会長を務める。

江戸という ランドデザインを構築



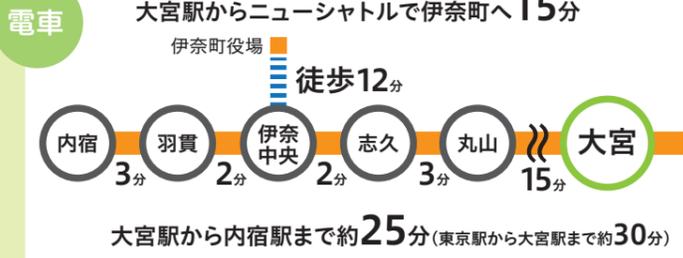


位置 埼玉県のほぼ中南部、都心から40km圏内

土地 海拔17.5m 沖積・洪積層からなる肥沃な平坦地

人口 令和2年11月1日現在 人口**44,895人** 18,839世帯
(男/22,750人、女/22,145人)

面積 東西に2.5km南北に7.5km、面積14.79km²で楕円型



伊奈町の文化財

縄文時代前期



▲小貝戸貝塚(清光寺)

中世



▲十三仏板石塔婆(法光寺)



▲伊奈忠勝の墓(願成寺)

伊奈氏の3代目 伊奈熊蔵忠勝は、元和5(1619)年8月16日に僅か9歳で夭折し、伊奈家の菩提寺である同寺に葬られました。伊奈熊蔵忠勝の墓は、昭和43(1968)年3月1日に伊奈町指定文化財となりました。

近世



▲無形民俗文化財 下郷区の春祈禱(下郷区)



▲無形民俗文化財 中荻のお獅子様(中荻地区)

伊奈備前守忠次とは？

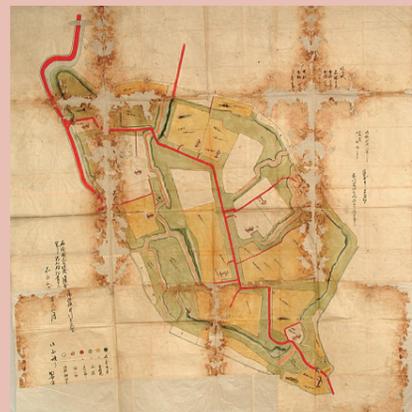
みかわのくにはずくんおしま
 天文19(1550)年、伊奈忠家の嫡男として三河国幡豆郡小島(愛知県西尾市)に生まれました。初めは「家次」、のちに「忠次」と名乗っています。徳川家康の嫡男松平信康に仕えていましたが、天正7(1579)年信康が自害に追い込まれると三河を出奔し、父とともに堺にいた伯父貞吉の元へ身を寄せます。同10年の家康堺訪問中に起きた、「本能寺の変」の際、伊賀越えに帯同したと言われ、徳川家に帰参して家康の家臣小栗大六の与力となりました。その後、同14年の駿府移城に伴い家康の近習となり、五ヶ国総検地など民政において才能を発揮し重用されました。

するが とおとみ
 天正18(1590)年の小田原北条氏攻めでは、駿河・遠江(静岡県)、三河(愛知県)三ヶ国の道路の普請や富士川の船橋の整備、軍勢の兵糧の輸送などを一手に担い、豊臣秀吉の信任も得ながら、地方巧者としての地位を固めました。

にゆうふう むさしのくにあだちくんこむろ
 家康の江戸入封後は、武蔵国足立郡小室及び鴻巣において1万3千石(1万石とも)を与えられ、小室に構えた陣屋を拠点に、徳川家の関東支配の基礎作りに多大な功績を残しました。

ねんぐしゆうしゆ
 慶長8(1603)年に江戸幕府が成立すると、全国支配のため代官たちを駆使して幕領の支配にあたるとともに、治水・灌漑工事や検地、新田開発、年貢取収など多様な農政や地方支配を行うようになりました。さらに、家康が駿府に移る同12年頃には、江戸の将軍秀忠政権の中枢に参画し、単なる代官頭としての立場を超えた年寄衆に近い役割まで果たすようになりました。

しよがんじ
 しかし、忠次は家康が名実ともに天下人となる大坂夏の陣より5年前の慶長15(1610)年6月13日に61歳で亡くなり、勝願寺(鴻巣市)に葬られました。



▲嘉永3(1850)年 小室陣屋内部の図(個人蔵)

伊奈忠次については、町で作成した伊奈忠次PR映像『伊奈忠次—関東の水を治めて、泰平の世を築く—』で詳しくご覧いただけます。



▲頭殿権現社(伊奈氏屋敷跡)

400年以上前、徳川家康の命を受けて治水事業の陣頭指揮を執った人物が、町名の由来となった伊奈備前守忠次です。町には伊奈氏屋敷跡をはじめ、幅広い時代の歴史的遺産が点在しています。

More than 400 years ago, Ina Bizen-no-kami Tadatsugu, after whom Ina Town is named, was put in charge of flood control by the shogun Tokugawa Ieyasu. Starting with the site of the Ina clan's former residence, Ina Town is littered with historical heritage covering a broad range of eras.



▲本上遺跡環状盛土遺構出土遺物



▲本上遺跡 第2次調査
 本上遺跡からは「環状盛土遺構」と呼ばれる、全国でもめずらしい遺構が確認されており、当時の人々が長い年月、同じ場所で生活していたことがわかっています。

平安時代〜鎌倉時代



▲木造阿彌陀如来坐像(西光寺)



▲絹本着色釈迦十六善神像(法光寺)

町名の由来になった郷土の偉人

伊奈備前守忠次

伊奈忠次銅像
 (羽生領島中領用排水路土地改良区内)

伊奈
花いっぱい
観光情報
ina
おまつり & 特産
Festivals & Specialty Products

Flower-filled Ina

Sightseeing Information



Situated within a rich, natural environment, Ina Town is also known as the "Town of Roses." In addition to the vibrantly colorful grounds of Ina Town Incorporation Commemoration Park, Ina Town boasts a number of enticing attractions, including four seasons of festivals and agricultural products filled with the goodness of nature.



夜桜も雰囲気
あります



伊奈町
夏の風物詩！



伊奈まつり

伊奈町の一大イベント。町の特産品の販売やお囃子、太鼓ステージ、ゲストによる楽しいイベントなど、盛りだくさんの内容です。まつりの最後を締めくくるのは大花火。スターマインをはじめ、約3,000発の花火が夜空を彩ります。

豊かな自然に囲まれ、“バラのまち”としても知られる伊奈町。鮮やかに園内を彩る「伊奈町制施行記念公園」はもちろん、四季折々のおまつり、自然の恵みたっぷりの農産物など、“伊奈町自慢”は多彩です。



バラまつり (伊奈町制施行記念公園バラ園)
県内最大のバラ園では、毎年春と秋に400種5,000株を超えるバラが咲き誇ります。見頃となる5月には「バラまつり」を開催。期間中にはさまざまなイベントが催されるほか、週末にはライトアップも行われます。また、10・11月には「秋バラまつり」が開かれ、絢爛豪華なバラの魅力を存分に堪能できます。

バラの満開の時期に
観覧者で賑わいます！



アイドルグループ「スリジエ」
中丸 葵さん

春はお花見に
家族と友人と！

さくらまつり

(緑のトラスト保全第13号地 無線山・KDDIの森)
約4.8ヘクタールの広大な樹林が広がる県内13番目の緑のトラスト保全地「無線山・KDDIの森」で毎年開かれるおまつりです。県立がんセンターと日本薬科大学を結ぶ約200mの桜並木がメイン会場。淡いピンク色に染まった会場には毎年約3万人が訪れ、特産品の販売やステージ発表などが行われます。



サッカークラブ「ギラヴァンツ北九州」
加藤 有輝さん

おいしいものいっぱい！ 名産・名物



ぶどう



梨



のらぼう菜



伊奈町で開催されるマルシェ

伊奈町では「伊奈マルシェ」「元気夕方市」などのマルシェが開催されています。伊奈町で採れた新鮮野菜や加工品の販売、各種イベントの開催、ハンドメイド作家の作品販売など、その形態や内容は多彩。マルシェではヒトやモノの交流を通して伊奈の魅力をつぶりと味わえます。

忠次公レキシまつり

町名の由来となった伊奈備前守忠次公の功績を称え、平成30年から毎年11月に頭殿権現社敷地内周辺をメイン会場に開かれているおまつりです。



伊奈町魅力発信大使



加藤 有輝さん

ギラヴァンツ北九州のゴールキーパー・加藤有輝さん。小針サッカースポーツ少年団出身で、同少年団の初蹴りや練習に参加するなど、地元の子どもたちに夢を与える活躍をされています。



中丸 葵さん

秋葉原を中心に活動するアイドルグループ「スリジエ」のリーダー・中丸葵さん。10,000人以上が応募したオーディションに合格し、毎週ライブを行うほか、雑誌やラジオ、テレビへの出演など、活動は多岐にわたっています。

おいしいお米が
伊奈町の名物！



稲作



伊奈町 総合振興計画 後期基本計画 2020～2024年

日本一住んでみたい まちを目指して

Building the best place you want to live in Japan

2020年、1970年の町制施行から50年を迎えました。

町民と行政がともにまちづくりを進めるうえで
伊奈町の未来を創造するため
5つの章の施策に取り組みます。

第1章 防災・減災 みんなで考え 行動するまち

第2章 いきいき 元気 健康長寿のまち

第3章 人を育て はじける笑顔 輝くまち

第4章 キラキラ光る ずっと住み続けたいまち

第5章 共につくる 未来につながるまち

In 2020, Ina Town celebrated the 50th anniversary of its incorporation as a town. To promote urban development with the cooperation of our residents and government, we will strive to implement the measures in the following five chapters, and make an even better future for Ina.



第1章 防災・減災 みんなで考え 行動するまち

～安心・安全なまちに暮らす～

- ① 地域防災力の向上
- ② 消防・救急体制の充実
- ③ 地域防犯体制の充実
- ④ 交通安全対策の充実
- ⑤ 安心な消費生活の支援



第2章 いきいき 元気 健康長寿のまち

～健康で心安らぐまちに暮らす～

- ① 生涯を通じた健康づくり
- ② 地域医療体制の充実
- ③ ともに支え合う地域福祉の充実
- ④ 高齢者サービスの充実
- ⑤ 障がい者の生活・自立支援
- ⑥ 社会保障の充実



第3章 人を育て はじける笑顔 輝くまち

～豊かな心を育むまちに暮らす～

- ① 子ども・子育て支援の充実
- ② 確かな学力と自立する力の育成
- ③ 豊かな心と健やかな体の育成
- ④ 質の高い学校教育を推進するための環境の充実
- ⑤ 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上
- ⑥ 生涯にわたる学びの支援と文化芸術の振興
- ⑦ スポーツ及びレクリエーション活動の推進



第4章 キラキラ光る ずっと住み続けたいまち

～緑あふれる、にぎわいのあるまちに暮らす～

- ① シティプロモーションの推進
- ② 緑の快適空間づくり
- ③ 環境にやさしい地域づくり
- ④ 良好な市街地の形成
- ⑤ 利便性の高い公共交通
- ⑥ 地域特性を生かした都市農業の振興
- ⑦ まちのにぎわいを創る事業活動の活性化
- ⑧ 地域資源を生かした観光振興



第5章 共につくる 未来につながるまち

～町民と行政が協働するまちに暮らす～

- ① 町民参画と情報共有の推進
- ② 地域コミュニティの活性化と協働の推進
- ③ 経営的視点に立った行政運営
- ④ 計画的な財政運営
- ⑤ 人権尊重と平和意識の啓発推進
- ⑥ 男女共同参画の推進



1970

2020年、1970年の町制施行から50年を迎えました。
主要事項を思い出しながら、伊奈町の歩みを見てみましょう。

昭和45(1970)年 11月	伊奈町誕生(1日)
12月	伊奈町音頭・伊奈町小唄制定
昭和46(1971)年 9月	学校給食センター業務開始(小室小学校、小針小学校、伊奈中学校)(6日)
昭和47(1972)年 10月	伊奈町制施行記念公園野球場完成(29日)
昭和48(1973)年 3月	大針に梨共同選果所完成
6月	役場庁舎現在地へ移転
7月	小室村・小針村合併30周年
8月	伊奈町商工会設立(6日)
昭和49(1974)年 4月	北保育所開所(5日)
10月	第1回町民体育大会開催
11月	浄水場完成(15日)
昭和50(1975)年 2月	水道事業給水開始
2月	第1回町内一周駅伝大会開催
11月	県立がんセンター開設
昭和51(1976)年 10月	第1回町美術展覧会開催
昭和53(1978)年 2月	南部土地区画整理地内を「栄」と町名変更
3月	中央保育所開所(4日)
11月	新幹線建設協定調印(新交通システムの導入を条件)(10日)



▲町制施行時の町役場

1980

昭和54(1979)年 4月	南小学校開校
昭和55(1980)年 3月	町の人口2万人突破
4月	埼玉新都市交通株式会社発足
11月	町制施行10周年
昭和56(1981)年 4月	配水場完成、県水受水開始(1日)
6月	総合センター開所(10日)
昭和57(1982)年 4月	南保育所開所(1日)
4月	小針中学校開校
10月	スポーツ都市宣言(第13回町民運動会)
昭和58(1983)年 4月	伊奈町消防本部設置(1日)
11月	郷土資料館開館(現:国登録有形文化財「齋藤家住宅主屋」)
12月	第1回町民マラソン大会開催
12月	埼玉新都市交通伊奈線(ニューシャトル)大宮～羽貫間11.6km運行開始



▲埼玉新都市交通伊奈線(ニューシャトル)開通



昭和59(1984)年 1月	町民憲章制定(26日)
4月	消防本部・消防署新庁舎完成(1日)
4月	県立伊奈学園総合高等学校開校(10日)
6月	伊奈氏屋敷跡より「障子堀」を発見
9月	北部土地区画整理地内を「寿」と町名変更
昭和61(1986)年 4月	伊奈中央会館開館(1日)
10月	第1回総合防災訓練実施
昭和62(1987)年 2月	KDD小室受信所開所
7月	図書館開館(25日)
昭和63(1988)年 4月	伊奈町制施行記念公園にバラ園が開園
4月	南中学校開校
8月	第1回伊奈まつり開催
平成元(1989)年 4月	クリーンセンター稼働開始
11月	中央土地区画整理地内を「本町」と町名変更
12月	移動図書館「ブックシャトル」運行開始



▲伊奈氏屋敷跡より「障子堀」を発見

平成2(1990)年 4月	町の花に「バラ」、町の木に「モクセイ」を指定
8月	埼玉新都市交通伊奈線(ニューシャトル)大宮～内宿間12.7km全線開通
11月	町制施行20周年
平成3(1991)年 4月	県民活動総合センター(けんかつ)開所(1日)
平成5(1993)年 5月	天皇后両陛下 行幸啓(当時)
平成7(1995)年 11月	町の人口3万人突破
平成8(1996)年 4月	新学校給食センター業務開始(11日)
平成12(2000)年 11月	町制施行30周年
平成14(2002)年 5月	ふれあい活動センター(ゆめくる)開所(14日)
6月	伊奈町観光協会設立(14日)



▲天皇后両陛下 行幸啓(当時)

平成15(2003)年 1月	町内循環バス「いなまる」運行開始
4月	町観光協会が梨ワイン「乙女の香り」を発表
11月	町観光協会が巨峰ワイン「彩の実」を発表
平成17(2005)年 12月	南部安心安全ステーション開所
平成18(2006)年 4月	小針北小学校開校
4月	パブリックルーム開所
12月	北部安心安全ステーション開所
平成19(2007)年 3月	北保育所新築・移転、子育て支援センター開所(12日)
12月	町の人口4万人突破
平成21(2009)年	出生率県内第1位



▲小針北小学校開校

平成22(2010)年 7月	伊奈特定土地区画整理地内を「西小針」「学園」「内宿」と町名変更
10月	人口増加率県内第1位・全国第5位(平成22年国勢調査)
11月	町制施行40周年

2010

50年の歩み

伊奈町

平成

2010

50年の歩み 伊奈町

平成22(2010)年11月 町商工会が伊奈町B級グルメ大会初開催

平成23(2011)年 3月 東日本大震災発生により帰宅困難者支援、避難者支援を実施

11月 「伊奈備前守忠次友の会」設立

平成24(2012)年 4月 教育センター開所(1日)

5月 伊奈町制施行記念公園バラ園に「イナローズ」植樹

12月 町観光協会が日本酒「忠次」を発表

平成25(2013)年 1月 茨城県つくばみらい市と友好都市提携協定を締結(17日)

3月 茨城県つくばみらい市と災害時における相互応援に関する協定を締結(19日)

4月 上尾市・伊奈町消防指令センター運用開始

6月 山形県鮭川村と災害時における相互応援に関する協定を締結(21日)

6月 無線山・KDDIの森が埼玉県緑のトラスト保全第13号地に決定

平成26(2014)年 5月 伊奈町制施行記念公園バラ園に「イナ姫」植樹

9月 伊奈町フィルムコミッション事業開始

10月 伊奈町・日本薬科大学・いきいき埼玉との相互連携協定を締結(26日)

10月 役場でパスポートの申請・交付手続き開始

平成27(2015)年 3月 町商工会が伊奈町・町社会福祉協議会と連携し「いな ささえあいサービス」を開始

6月 伊奈町ふるさと応援寄付金受付開始

11月 秋バラまつり初開催

平成28(2016)年 2月 第1回技能功労者表彰式開催

3月 いな穂街道全線開通(県道上尾・蓮田線まで)

3月 中央保育所開所(31日)

4月 郷土資料館が南中学校内に移転

8月 お年寄り世帯見守りたい事業開始

12月 忠次プロジェクト推進協議会設立



▲いな穂街道全線開通



▲圏央道 桶川加納IC出口に「伊奈」の案内看板設置

平成29(2017)年 1月 圏央道桶川加納IC出口に「伊奈」の案内看板設置

2月 地域情報ポータルサイト「いなナビ」開設

2月 「忠次公によるまちづくり」の一環で伊奈氏屋敷跡周辺の散策路整備開始

9月 群馬県みなかみ町と友好都市提携協定を締結(29日)

12月 町観光協会が日本酒「伊奈氏三代」を発表

平成30(2018)年 3月 伊奈備前守忠次公のイメージソング制作

3月 伊奈町人と人をつなぐ手話言語条例制定

6月 上尾市と「上尾市伊奈町ごみ処理広域化の推進に関する基本合意書」締結

8月 防災無線定時放送に「忠次公～ふるさと伊奈と青い空～」を採用

10月 第1回忠次公レキシまつり 伊奈丸山大合戦!開催

11月 町観光協会が梨ワインスパークリングを発表



▲日本酒「伊奈氏三代」



50年の歩み 伊奈町

11月 大島家住宅が国登録有形文化財に登録

11月 埼玉県・上尾市・伊奈町が柔道オーストラリアとの覚書締結

平成31(2019)年(令和元年) 1月 福島県南会津町との雪交流事業開始

3月 郵便局との連携に関する包括協定を締結

4月 (株)西武ライオンズとの連携協力に関する基本協定を締結

4月 伊奈町・毛呂山町・川島町のバラによる相互交流事業「バラハーモニー」開始

7月 埼玉県・上尾市・伊奈町がオーストラリアのホストタウンに登録

9月 第1回伊奈マルシェ開催

11月 町内循環バス「いなまる」が2台体制での運行開始

11月 町制施行50周年記念ニューシャトルラッピング車両 期間限定運行開始

11月 町総合文化祭において「町制施行50周年記念シンポジウム伊奈忠次」を開催

12月 齋藤家住宅が国登録有形文化財に登録

12月 伊奈町魅力発信大使誕生

令和2(2020)年 2月 丸山スポーツ広場に桜50本植樹

2月 住民票等のコンビニ交付サービス開始

4月 ご当地ナンバープレート交付開始

6月 伊奈町中小企業・小規模企業振興基本条例制定

8月 上尾・伊奈広域ごみ処理施設建設候補地を決定

11月 町観光協会がバラのクラフトビール「ローズエール「イナ姫」」を発表

11月 町制施行50周年



▲大島家住宅主屋(国登録有形文化財(建造物))



▲齋藤家住宅主屋(国登録有形文化財(建造物))

令和

2020



▲ご当地ナンバープレート交付開始



伊奈データ

INA PICK UP DATA

キラキラ Town **伊奈**

人口
 埼玉県内
町村第1位

44,895人
 (令和2年11月1日)

町制施行時は
10,346人
 (昭和45年11月1日)

外国人の人口
 37か国478人
 (令和2年11月1日)

世帯
 埼玉県内
町村第2位

18,839世帯
 (令和2年11月1日)

町制施行時は
2,512世帯
 (昭和45年11月1日)

町内交通事故
 (1日に)
 2.1件
 (令和元年)

救急車出動
 (1日に)
 4.2件
 (令和2年)

面積
 14.79km²

転入
 (1日に)
 5.3人
 (令和元年)

出生
 (1日に)
 1.1人
 (令和元年)

結婚
 (1日に)
 1.1組
 (令和元年)

約3.5量

都市公園面積
 (町民1人あたり)
 5.35m²
 (令和2年3月31日)

ごみ
 (町民1人あたり1日に)
 846g
 (令和2年)

図書館所蔵資料
 (町民1人あたり)
 3点
 (令和2年3月31日)

転出
 (1日に)
 4.6人
 (令和元年)

死亡
 (1日に)
 1.1人
 (令和元年)

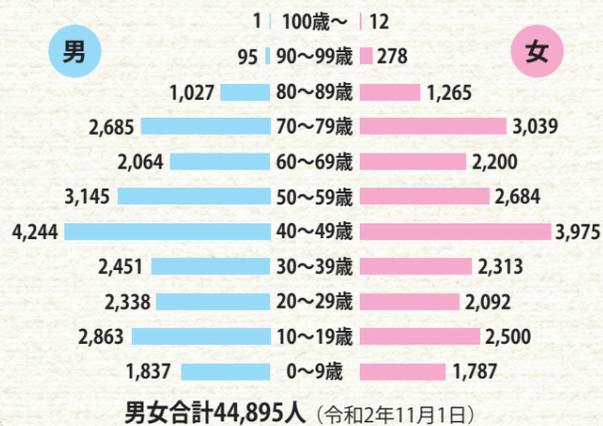
離婚
 (1日に)
 0.3組
 (令和元年)

配水量
 (町民1人あたり1日に)
 289ℓ
 (令和2年3月31日)

町職員
 町民
 159人に1人
 (令和2年11月1日)

消防職員
 町民
 761人に1人
 (令和2年11月1日)

年齢別男女別人口構成



駅の1日平均乗車数 ニューシャトル (令和元年)



- 昭和58年12月運行開始
- 大宮から内宿(伊奈町)の間12.7km
- 最高速度60km/h、表定速度31km/h
- 6両編成(定員260名程度)
- 丸山駅から内宿駅まで10分

小学校教員
 児童
 20.3人に1人
 (令和2年5月1日)

中学校教員
 生徒
 15.1人に1人
 (令和2年5月1日)

※令和元年は平成31年1月~令和元年12月

議会

議会は議員16名で構成され、年4回の定例会のほか、必要に応じて臨時会を開催します。町民と行政のパイプ役として、町民の声が町政に反映されるよう、予算や条例等の議案や町民からの請願・陳情等の最終意思を決定し、「住みやすいまちづくり」に日々努めています。



Town Council

The Ina Town Council is comprised of 16 members and meets four times a year, as well as whenever circumstances warrant. The Council works daily to make Ina Town a good town to live in by serving as an intermediary between residents and the town's executive administration, making sure that residents' voices are reflected in government policy, such as in budgeting, ordinances and other legislation, and in decision-making regarding petitions from residents.

伊奈町民憲章

昭和59年1月26日制定

わたしたちは伊奈町民です。
わたしたちは自然と歴史を尊び、先人が築いた郷土をたいせつにし、さらに創意と努力により魅力あるまちをつくるため、この憲章を定めます。

- 1 自然を愛し 緑と花の美しいまちを つくります
- 1 スポーツに親しみ 健康で楽しい家庭の 明るいまちを つくります
- 1 コミュニティーをたいせつにし 心のかよう 住みよいまちを つくります
- 1 教養を深め 歴史と文化の香り高いまちを つくります
- 1 働くことを喜び 産業を伸ばし 豊かなまちを つくります



町章

Town Crest

「いな」を花卉に図案化、住民が団結し手をとりあって輪をつくり、花のような美しい地域をつくるという意味があります。

The name "いな (Ina)" is stylistically depicted in flower petals accompanied by a circle of residents holding hands, signifying a desire to create a community as beautiful as a flower.



町の花

Town Flower
Rose

町制施行20周年を記念して町の花に制定されました。これを契機に整備・拡張されたバラ園は県内最大となり、観光資源にもなっています。

This flower was chosen on the 20th anniversary of the town's establishment to be the Ina Town flower. This led to the establishment of the Rose Garden, which has developed and expanded into Saitama Prefecture's largest such garden and which is a significant tourism resource for the town.



町の木

Town Tree
Sweet Osmanthus

町制施行20周年を記念して町の木に制定されました。緑豊かなまちづくりの象徴として、広く町民に親しまれています。

This tree was chosen on the 20th anniversary of the town's establishment to be the Ina Town tree. It symbolizes a community filled with lush greenery and is widely popular among residents.

伊奈町の交流都市

Ina Relationship Towns

Ina Town maintains deep ties of relationship with Sakegawa Village in Yamagata Prefecture, Tsukubamirai City in Ibaraki Prefecture, and Minakami Town in Gunma Prefecture.



山形県 鮭川村

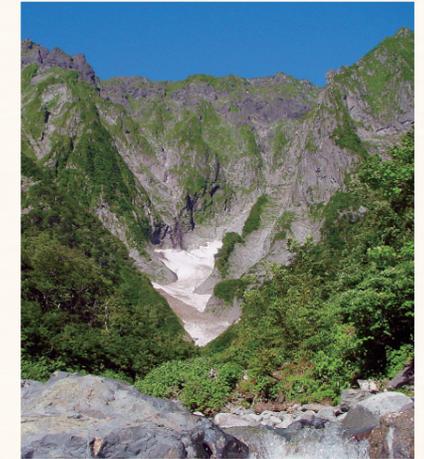
山形県の北部、秋田県との県境の最上地方に位置する鮭川村。村の中央には名前の由来となった清流「鮭川」が流れ、その清流や豊かな自然を活かした農業が基幹産業です。米の生産が盛んなのはもちろんですが、きのこの生産も盛んで山形県内の6割の生産量を誇ります。

平成25年6月21日に災害時における相互応援に関する協定を締結して以来、交流を深めています。



茨城県 つくばみらい市

茨城県南部に位置するつくばみらい市は、平成18年に筑波郡旧伊奈町と谷和原村の合併により誕生した市です。旧伊奈町の町名は伊奈町と同様に、関東郡代伊奈氏に由来していることから、以前より交流が図られてきました。また、伊奈町はニューシャトル、つくばみらい市はつくばエクスプレスの沿線に位置し、急速に発展してきたという共通点があることから、平成25年1月17日に友好都市提携協定を締結しました。



群馬県 みなかみ町

みなかみ町は群馬県を代表する温泉地で、登山で有名な谷川岳を有し、観光業が盛んな町です。伊奈町では、平成17年から両町の観光協会を通じて友好を深めてきました。さらに交流の深化と発展を目指し、平成29年9月29日に友好都市提携協定を締結しました。産業や観光の振興に関する交流のほか様々な分野での相互交流と、災害時の相互応援も行っていきます。

伊奈町の最新情報は伊奈町HP、公式SNSで！

公式ホームページ



フェイスブック



インスタグラム



LINE



YouTube



伊奈町町制施行50周年記念町勢要覧がデジタルブックで読めます！



多言語対応！ポップアップ表示で文字が読みやすい！

音声読み上げもできるCatalog Pocket(カタポケ)。多言語(10言語)対応で、海外の方も閲覧できます。無料アプリをインストールして、カタポケ版「伊奈町勢要覧」を閲覧ください。ブラウザでも閲覧できます。

対応多言語(10言語)

日本語・英語・中国語(簡体字)・中国語(繁体字)・韓国語・タイ語・ポルトガル語・スペイン語・インドネシア語・ベトナム語で読むことができます。





町制施行50周年記念伊奈町町勢要覧

発行／埼玉県伊奈町

発行日／令和3年3月

編集／伊奈町秘書広報課

〒362-8517 埼玉県北足立郡伊奈町中央四丁目355番地

TEL 048-721-2111 FAX 048-721-2136

<https://www.town.saitama-ina.lg.jp>